

大使館からのお知らせ

<経済・経済協力>

在コスタリカ日本国大使館
経済協力班 渡部

3月に実施いたしました当館の活動について、ご紹介をさせていただきます。

1. 日本の協力により、コスタリカの国立病院に臍帯血バンクが整備されます。



・日本政府は、1989年から途上国における人道的な地域開発プロジェクトに対して、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」という資金援助を行っています。

毎年、医療機関、地域開発協会や公立学校の運営団体等から、多くの申請が大使館に提出されます。その中から、緊急性や必要性が高いプロジェクトの順に現地を訪問し、申請者や関係者と対話を行い、各プロジェクトの検証を行った上で協力を行っています。

本年3月に、小中学校の教室や体育館建設、老朽化した橋の架け替え、自然災害の際の避難所建設、養護学校の通学用バス整備等のプロジェクトに資金協力を行いました。

また、サン・フアン・デ・ディオス国立病院に、中米初となる公的な臍帯血バンクを整備するプロジェクトに協力を行いました。臍帯血（さいたいけつ）とは、「へその緒」に含まれる血で、この血から得られる細胞は、白血病等の移植治療に有効です。

この臍帯血を保存する「バンク」を整備するプロジェクトは、コスタリカ政府が必要性を認めたものの、財政難のため予算が確保できず、進展が見込まれませんでした。大使館は、同病院から協力の申請を受け、その重要性を認識し協力を行いました。

今般の日本の協力により、治療を受けることができなかった多くの人命が救われます。

2. 日本の協力により、コスタリカで地上デジタルテレビ放送が開始されました。



3月19日、大統領府において、コスタリカで地上デジタルテレビ放送の開始式典が開催されました。同式典には、チンチージャ大統領、ベガ通信省次官、アリアス国立テレビ・ラジオ局社長、並木大使が出席しました。

地上デジタルテレビ放送は、「地デジ」と呼ばれ、従来のアナログ放送に比べて、映像や音質が良く、携帯電話でも電波を受信し、テレビ番組を見ることができます。また、自然災害などの緊急警報をテレビや携帯電話で受信することもできます。

「地デジ」は、日本、米国、欧州、中国の4方式があります。大使館は、コスタリカ政府に、日本方式が技術的・経済的に優れた方式であると利点を説明してきました。

コスタリカ政府は、2010年5月に日本方式の採用を決定しました。日本政府は、「地デジ」への移行に必要な経験と技術を学ぶための研修を日本で実施しており、昨年、コスタリカ通信省、国立テレビ・ラジオ局の職員が受講しました。

同式典では、チンチージャ大統領が電話でイラス火山の山頂にある電波送信所に連絡し日本の協力により設置された送信機にスイッチを入れるよう指示しました。
会場に設置されたテレビに「地デジ」が映し出されると会場は拍手で満たされました。

チンチージャ大統領から、コスタリカの「地デジ」は、日本の協力により実現されたものであり、両国の友好関係を象徴するものであると感謝が述べられ、その模様がテレビの生中継でコスタリカ国内に報じられました。

コスタリカ政府は、2017年12月までにアナログ放送から「地デジ」へ移行を予定しています。コスタリカ在住の方は、アンテナでの受信、ケーブルテレビや衛星放送などによる受信によって対応が異なりますが、まだ試験放送の段階ですので、急いで準備する必要はございません。進展がございましたら、御連絡をさせていただきます。

お問い合わせは大使館 経済協力班 渡部まで

TEL: (506) 2232-1255 e-mail: fujitaka.watabe@mofa.go.jp